



高知競輪場の走路 改修現場で見学会

NIPPO四国支店

NIPPO四国支店は9月27日、高知市内で施工している高知競輪場のバンク

(走路) 改修工事で小学生を対象に現場見学会を開いた。市立第六小学校の4年生35人が参加した。児童らはアスファルト舗装の工程を見学。工事に使われているバックホウやローラー、高所作業車に体験乗車するなどして楽しんだ。

同競輪場は1999年に完成。走路の老朽化に伴い、市が7月から改修工事を進めている。施工はNIPPO・泉建設工業・土佐新高建設Jが担当。2023年1月中旬の完成を目指す。走路張り替えは初という。

アスファルト舗装の手順を見学した(NIPPO四国支店提供)

NIPPOが現場見学会

小学生が舗装技術体験

高知競輪場バンク張替工事



NIPPO四国支店は27日、高知市で施工中の高知競輪場走路改修工事の現場見学会を開いた。老朽化したバンク（走路）を全面更新する事業となる。招待された地元小学生35人は、特殊建設機械に触れたほか、アスファルト舗装ができるまでの手順を学ぶことで、ものづくりに関心を示していた。写真。

見学会は2部構成で進行した。座学ではバンクの角度測定方法や中華鍋を使った舗装の実演を学んだ。屋外での体験学習は、作業員がアスファルトを敷きながらして転圧した後の型枠を取り外し、完成品の検査などを体験した。その後、バックホウや4トローラ、高所作業車に試乗した。

高知競輪場「りよつまスタジアム」(大原町45)は、1999年に完成。全国に3場しかない500㍎のロングコースと最大24度の傾斜が特徴となる。アスファルトは4層15㍎で幅員8・7―14・4㍎。定期的に改修工事を実施してきたが、バンクの全面張り替えは初めてとなる。2023年1月中旬に工事を終え、2月からレースを再開する予定だ。